



小西由希子のまちづくり通信

発行：市民ネットワーク 編集：市民ネットワークちば・中央
〒260-0013 千葉市中央区中央 3-13-17 TEL/FAX 043-223-7880
URL：http://www.chibanet.jp/kaiha/ E-mail chuo@chibanet.jp

NO. 39



市議会議員 小西由希子

熊谷新市長が誕生して

熊谷新市長のもとでの初めての議会が終わりました。

市長は初登庁時職員へ「上司ではなく、人生を千葉市に捧げた同士と思ってほしい。今の行政のやり方が本当に市民が望んでいるやり方なのか、もう一度市民の声に耳を傾けていただきたい」と話されました。

鶴岡前市長逮捕により市民の信用を大きく失墜した千葉市。まずは組織的な関与の有無を調査し再発防止策を打ち出すことが必要です。第三者も交えた調査委員会を設置し、入札制度及び過去の指名競争入札の検証を行うことが市長から示されました。市民ネットでは公益通報制度の活用や口利きの文書化と公開を、政治倫理条例や職員倫理条例に盛り込むことを求めました。

議会では、市長のマニフェストについて問いただす質問も多く活発な展開がありました。一般質問に市長が答弁するのも千葉市議会では初めてのことです。

財政再建への強い姿勢を示していきたいと、大型公共工事の見直しなどに加え市長と副市長の給与カットの条例改正案が提出されました。ネットを始め、民主、共産、無所属が賛成したものの、自民、公明、新政ちばが、算定根拠が疑問、部局長にも及ぶのではないかなど納得がいかないとしたため継続審査となったことは残念であり、ぜひ9月議会での可決を期します。

市長は議会の最後に「行政には限界があることを知らなければならぬ」と話されたのが印象的でした。財政も厳しく、職員数も減少している今、市民が市政にどれだけ主体的に参加していくかが求められています。市民ネットが求めてきた市民参加のまちづくりがもっともっとすすんでいくよう、情報公開と市民参加の仕組みづくりを充実させていくことが大切です。



熊谷さんを応援する小西由希子

改革スタート

今議会で示された市長の改革案

市民の目でチェック 9月議会に注目！

- ★ **モノレール延伸** 現時点で凍結が妥当。今後の扱いについては有識者を交えた総合交通政策検討の中で議論していく。
- ★ **蘇我スポーツ公園** テニスコートは夜間照明や管理棟を縮小し約3億円、陸上競技場などの見直して約20億円、全体で計約23億円削減。
- ★ **千葉駅周辺開発** 土地開発公社から16億円で買い戻した弁天1丁目の土地に建設予定の複合施設は、西口再開発ビルへの導入を検討。また、土地売却も選択肢の一つとして検討するとのこと。
- ★ **市民参加及び協働に関する条例** 市民参加の手法がパブリックコメントだけであることから見直しを検討するとのこと。住民投票制度や、事業計画段階からの市民参加と協働の仕組みを盛り込む改正が求められます。
- ★ **区の機能強化** 区に必要な人員を配置し、区長に一定の権限を付与すること。区の特徴を生かしたサービスがようやくスタートしそうです。区の独自予算や区民が区政に参加できるしくみを提案していきたいです。
- ★ **福祉** 小学6年までの入院医療費無料化に向けて来年度実施の検討が始まる。
- ★ **市長のマニフェストプロジェクトがスタート。** 市のホームページで公開。千葉市政の課題を市民も一緒に考え、意見を出していきましょう。ぜひ、議会傍聴におでかけください！



工事中のJR千葉駅西口

アンケート

あなたのお住まいと年代は

中央区 () 町 () 丁目 () 代

1. 資源ごみとして「雑紙」を集めていることを知っていますか。また、集めて出していますか。
 知っており、集めて出している
 知っているが、出していない
 知らない
2. 剪定枝(剪定した庭木)の処分はどうしていますか？
 燃えるごみに出している
 市のチップ機を借りて自宅で処分している
 その他 []
3. ごみ減量のために工夫していることを教えてください。
4. ごみ出しで困っていることはありますか？
 資源ごみの分け方がよくわからない。
 スーパーの袋がごみ袋に使えないので困る。
 ごみ出しルール違反がある。
 その他 []

ごみ問題アンケートにお答え下さい



千葉市では、平成19年にごみ処理基本計画を策定し、2清掃工場体制を維持するために、焼却ごみ1/3(10万トン)削減に取り組んでいます。18年度33万トンあったものを19年度は2万3,900トン、20年度は1万4,400トン減らしてきました。

ごみ処理費は、年間約160億円(市民1人当たり17,300円)とのことです。可燃ごみの約1/3が紙類(その半分は雑紙)です。焼却ごみ削減には、古紙の資源化を進めることが重要で、10月から収集日が毎週1回に増やされる予定です。その一方で、可燃ごみは週2回に減ります。市民への広報はこれからの予定で十分周知されるか心配です。今後プラスチック製容器包装や剪定枝の再資源化も進められます(平成22年度より実施予定)が、市民がどれだけ協力するにかかっています。少しでもごみを減量していくため1人でも多くの市民が取り組めるしくみ作りが求められます。

受動喫煙について

JR千葉駅前には路上喫煙禁止地区となっていますが、ここに喫煙所を作る案があります。喫煙所からはどうしても煙が漏れ「受動喫煙」を起こすので人通りの多いところに作るべきではない、と市議会に陳情しましたが継続審査となりました。路上喫煙禁止は、タバコの火による火傷事故やポイ捨ての防止が目的とされがちですが、実は最も大切なのは受動喫煙を防ぐことなのです。

受動喫煙とは他人のタバコの煙を吸わされることで、ガンや心筋梗塞・脳卒中や流産、赤ちゃんの突然死など想像以上に深刻な健康被害を起こします。欧米をはじめ世界中の国では、危険な受動喫煙から人々を守るため、公共の空間はもちろんレストランやバーまで禁煙とする法律が作られ、こうした国では心臓発作が10-20%も減少することが相次いで報告されています。こんなに多くの心臓発作が受動喫煙によって引き起こされていたのですから大変なことです。健康を守るため、受動喫煙の害についてぜひ正しく知っていただきたいと思えます。

田那村内科小児科医師 田那村雅子